

# 安藤美幸プロフィール

1949年東京都豊島区で生まれ、豊島区立千川小学校、豊島区立第十中学校、東京都立竹早高等学校、東京学芸大学美術科卒業。東京都清瀬市と栃木県足利市で4年間小学校教諭を務めた後、子育てに専念するため退職。1988年から邑楽町(自宅)で子供造形教室を主宰。

## ■造形教室『もえぎむら』のモットー■

- ・色と形に関することなら何でも試してみる。
- ・なるべく加工していない素材から、「きれいなもの」「楽しいもの」「ふしぎなもの」を自分でつくりあげていく。

### 《昨年度の活動は》

#### 食べ物が描かれている絵

タイトルやストーリーを考えることによって絵に集中力を生み出す

#### 水彩画「バナナ船のぼうけん」



長野広夢 3年

#### 陶芸

昨年は照明カバーを制作



小倉直子 5年

#### トイレットペーパーの芯と割りピンで

ぐにやぐにや動く竜を制作



松田奈々花 4年

#### 〈夏休み〉ポスターを描く

たくさんのジャンルから自分で選択

毎年多くの作品が入選入賞！

#### 「健康ポスター」



本間仁 6年

#### 霊獣

#### 「幸せを運ぶ馬」

自分の願いを考えて制作



木村穂乃花 5年

#### キャンドル

毎年経験を積み重ねてだんだん高度で美しいキャンドルを創り出す



増田翔 4年

#### いす

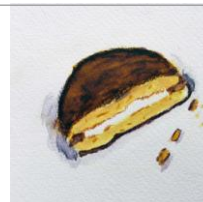
鋸や金槌を使って悪戦苦闘！



水野聖玲奈 4年

#### 水彩色鉛筆画

お菓子や果物を写生



大城岳 3年

毎年春に作品展を開催



〈2012年5月 邑楽町図書館で行った作品展の様子〉

第 19 回東急ハンズ大賞展に入選した、22 名の集合作品



隣が誰の土地であるか知らないまま、一人ずつに領地を預け、隣へ続く道の位置だけを守って自分のパートを完結

→それを合体させた時、初めてレリーフ状の「もえぎふしぎ村」と名付けた全景を知る

第 20 回ハンズ大賞展入選

会場にて



大きな段ボールの上に寝転がって、友達がチョークでその子の輪郭線を描く

→本人がそれを切り取って、角やしっぽなどの部品やを衣装を創作

→「仮装大会」と名付けた作品群

頭に思い描いたことを、手や体の活動を通して、具体的に実現していくのは楽しいことです。創意工夫をして、望むものを獲得していくことは成就感があります。

指示通りに進み、同じできばえに到達することが目的ではありません。情熱的な想いを持って、それに向かって行くこと自体が目的です。(結果、作品ができます) 大げさに言えば、それが人生の基本だと思います。簡単にうまくできちゃうことが幸せではなく、努力によって向上したいのは、人間の本能なのです。

私の仕事は、子供が、苦勞をしてでもやり遂げたいと思うような、ときめく課題を用意することです。そして、子供の頭や心や体が自由に働くように、場と材料を整えて、励まし、手助けすることです。

日々私自身が試行錯誤をし、こんな教室でありたいと願っています。